

議会活動フォト



①泉小学校、泉中学校の新校舎完成
市内で初となる小中一貫校舎。多くの方々のご尽力により、素晴らしい校舎が完成しました。

②働き方改革推進プロジェクト
政府が旗振り役となっている働き方改革。金沢市も民間企業と協力して推進していきます。

③職業体験（インターンシップ）
金沢大学の学生を2か月間受け入れました。意欲のある学生との毎日の活動は、私にとっても貴重な体験となりました。



④金沢市立工業卒業式
文教消防常任委員会の一員として出席。素晴らしい卒業式でした！卒業生、保護者の方々、おめでとうございます！



《喜多浩一プロフィール》

| | | | |
|-------------|--------------------------|---|---------------|
| 昭和 45 年 5 月 | 野町に生まれる | 平成 9 年 4 月 | 今村証券株式会社入社 |
| 52 年 3 月 | 藤蔭幼稚園卒 | 23 年 1 月 | // 退社 |
| 58 年 3 月 | 森山町小学校卒 (金沢東警察署で少年剣道) | 23 年 4 月 | 金沢市議会議員選挙に初当選 |
| 61 年 3 月 | 星稜中学校卒 (剣道部主将) | 27 年 4 月 | 金沢市議選挙で2期目の当選 |
| 平成 元 年 3 月 | 金沢泉丘高校卒 (剣道部主将) | 野町校下青年会・野町弥生消防分団所属 金沢市泉本町に在住 | |
| 9 年 3 月 | 早稲田大学卒 | 資格 証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー 国家試験合格 行政書士・宅地建物取引士 家族 妻、長男(米泉ドジャース→石川中央ボーイズ)、次男 | |

金沢市議会議員

喜 多 浩 一 通 信
き た こう い ち

Vol.18 発行・喜多浩一



市議会議員2期目の折り返しを過ぎて

平成 27 年 4 月に金沢市議会議員として2度目の議席をいただいてから、早2年が過ぎました。1期目以上に早く感じられます。

この任期が始まる直前に北陸新幹線が開業し、金沢の風景が一変しました。兼六園や武家屋敷、東や西の茶屋街などはもちろん、街の路地裏でも観光客がスマホを片手に散策している姿を毎日のように目にするようになりました。

今は当たり前となった光景も、ちょっと油断をしたり、おもてなしの心を失ってしまえば、一気に元の木阿弥となってしまいます。私たちには金沢という街が持つ魅力を更に高めていき、次世代に引き継いでいく使命があります。今後も、金沢市議会と金沢市とが一致協力して、新しい施策の推進に邁進していかなければなりません。

これから、全国すべての主要都市に求められているのは、未来永劫、持続可能な街をいかにして作っていくかということです。そのためには、身の丈に合ったコンパクトな市街地の形成と、次の金沢を担う人材の育成が必要不可欠です。市民の皆さまからの声を真摯に受け止め、残り2年の任期も全力で駆け抜けていきますので、どうかこれまでと変わらぬご指導を賜りますよう、よろしく申し上げます。

この「喜多浩一通信」も18回目の発行となりました。バックナンバーについては下記アドレスにてご覧になれますので、アクセスしていただければ幸いです。

(喜多浩一)

<http://www.kita-koichi.com/archive2/>

善隣館の活性化検討

金沢市 新年度、研究会設置

市議会一般質問

金沢市は新年度、地域における福祉活動の拠点となってきた善隣館の活性化を目指し、市と善隣館職員による研究会を設置する。善隣館は社会環境の変化によって、存続を不安視する声が増えつつあり、今後の事業のあり方や経営基盤の強化策などを検討する。市は善隣館を金沢の地域活動の原点と位置付け、次世代に受け継ぎたい考えである。

15日の市議会3月定例会で山野之義市長が、喜多浩一氏（自民）の質問に対して方針を示した。研究会は市と善隣館の実務者レベルで組織する。善隣館はそれぞれ、保育やデイサービスの事業を社会福祉法人として経営しており、研究会は課題を整理した上で、今後のあり方を考える。また保育やデイサービス以外にも手掛けられる事業がないか探る。研究結果は2018年度以降の施策に反映させる。

喜多浩一関連記事

北國新聞
2017年
3月16日
付 朝刊

茶屋継承へ
会議所と連携
山野市長は、芸妓を抱える茶屋で女将の高齢化が進んでいることを受け、金沢商工会議所や金沢伝統芸能振興協同組合などと連携し、伝統と格式の継承に努める考えを示した。

「西泉家」が2月末に営業を終えたことを受け、対応を急ぐよう求めた。

善隣館は1934（昭和9）年、野町に「第一善隣館」が創設されたのを皮切りに、金沢独特の施設として普及し、現在は市内に11カ所ある。

地域運営校 成果を問う

喜多浩一氏（自民） 中村町小でのコミュニティスクール「地域運営校」事業の成果を問う。野口教育長 学力を高めるための放課後学習を始めるなど、学校と地域が一体となった取り組みが充実してきた。



喜多氏 建築文化拠点施設の整備に合わせ、犀川河畔に「まちのり」のボート（駐輪場）を設置せよ。

山野市長 新年度にまちなりの運営上の課題を検証する中で、前向きに考えたい。

喜多氏 旧鶴来街道の無電柱化の進捗よく状況と今後の予定を尋ねる。

山野市長 地上機器置き場の用地を確保するため、測量や用地取得を行う。趣のある照明や舗装による道路の修景も予定する。

▲ 北國新聞 2017年3月16日付 朝刊

▼ 北陸中日新聞 2017年4月24日付 朝刊

新校舎 笑顔いっぱい

泉泉小、泉中完成祝い



金沢市泉小学校と泉中学校の竣工式が二十三日、同小体育館であり、児童生徒約三百人と保護者ら五百人が参加した。（蓮野亜耶）

「新しい校舎でたくさん思い出をつくりたい」と発表する児童生徒の代表＝金沢市泉小で

山野之義市長は「かつて、旧師範学校があり、県の教育の原点ともいえる地に、小中学校ができたことは意義深い」と述べ、「新しい校舎に活気あふれる声が響き、よく学び、よく遊んでたくさん思い出をつくらせてください」とあいさつした。

喜びの言葉として、泉小六年の三人と泉中三年の二人が「新しい校舎を大切に、楽しく一生懸命に学び、笑顔あふれる学校にしていきたい」と大きな声で話した。

泉小は二〇一四年四月に旧野町小と旧弥生小が統合して開校し、旧野町小の校舎を利用してきた。旧弥生小に隣接する泉中学校舎は一九六〇（昭和三十五）年の建築で、老朽化のため泉小と合わせて同じ敷地に新築した。

小学校は鉄筋三階建て延べ七千五百三十平方メートル。中学校は鉄筋三階建て延べ六千八百一平方メートル。中庭へと続く入り口部分には、同じ場所にかつてあった旧師範学校をイメージした切り妻の屋根をデザインした。

平成29年3月定例会での主な質問と答弁の要約

◎ICTを活用した地域課題の解決について

〈喜多浩一〉

これからの時代を考えた場合、コミュニティの醸成にはICTの活用が必要不可欠です。ICTを活用することで、市民が自ら地域の課題を解決していこうという取組みを「シビックテック」と言うようですが、本市の具体的、積極的な取り組みについてお答え願います。

〈山野市長〉

本市はスマホアプリコンテストやアプリ開発塾を通じた「シビックテック」の担い手づくり、活用に必要なオープンデータの公開について他都市に先駆けて行ってきました。秋には全国各地の活動団体が集うイベントを開催することによって、「シビックテック」なら金沢と言われるような活動をしていきたいと考えています。

◎若者の政治参加について

〈喜多浩一〉

若い世代が政治に関与するための方策として、当事者意識を持つことができる環境づくりが必要と考えられますが、どのような方法で、若者に政治に関与していただこうと考えているのか、お答え願います。

〈山野市長〉

政治に関心を持ってもらうことは大切であります。国の方でも18才に選挙権が下がったことにより、主権者教育の充実に努めていくと学習指導要領に示しましたが、本市においても選挙管理委員会において、学生による選挙啓発グループへの支援なども行っていきます。私も含めて、議員の皆さまも積極的に学生とコミュニケーションを図っていただきたいと思っています。

◎地域学校協働本部とは

〈喜多浩一〉

地域ぐるみで子供を育てるために設置される地域学校協働本部とは、いかなる役割を担うのかお答え願います。

〈野口教育長〉

地域学校協働本部とは、地域コミュニティが主体となり、幅広い住民の参画によって、学校と協働しながら、地域行事や体験学習といった地域全体で子供たちの成長を支える活動を行うとともに、地域のつながりの強化を図ることを目的として設置されるものです。